

第 1 部

千葉県立国分高等学校
マーチ「カタロニアの栄光」
春の猟犬
指揮 佐藤宗男
間宮芳生
アルフレッド・リード

千葉県立市川西高等学校
「神曲」より I・IV 楽章
指揮 鈴木準二
ロバート・W・スミス

千葉県立松戸矢切高等学校
オスカー・フォー・アムネスティー
指揮 石井秀明
ディルク・ブロッセ

市川市立第七中学校
組曲「惑星」より 火星
指揮 岩倉繁雄
グズターフ・ホルスト

第 2 部

《 1 年生合同演奏 》
第 2 組曲
指揮 鈴木準二
アルフレッド・リード

テストメント
指揮 増田 剛
ロバート・ジェイガー

《 2 年生合同演奏 》
ファンファーレとアレルヤ
指揮 石井秀明
ジェームズ・バーンズ

ロッキンヴァー
指揮 吉田 直
ジェームズ・カーナウ

曲目解説

●行進曲「カタロニアの栄光」 間宮芳生 March: Glory of Catalonia Yoshio Mamiya

この曲は1990年度・全日本吹奏楽コンクールの課題曲として1989年の夏に作曲された。作曲者は「生涯を地上に人間の夢の国を築くことに生涯を捧げた、スペイン・カタロニア生まれの建築の奇才ガウディに捧げられたマーチ。と言うよりガウディが造った建物、庭園、教会など写した映画につけた、私の音楽のある主題断片がもとになって、このマーチができた(後略)」と述べている。

前半は木管の上行形のメロディで、鋭く張りつめた雰囲気を開始され、金管がリズムに応答し、このリズムをベースとして始まる。この曲は普通の長調・短調とは違う、リディア音階やミクソリディア音階などが使用されている。これはガウディの不思議な建築様式と合う旋法と考えて使用されている。

●春の猟犬 アルフレッド・リード The Hounds of Spring Alfred Reed

この曲は今や吹奏楽オリジナル曲屈指の作曲家の1人であるA. リードが、1980年にA. C. スウェンバーンの同名の詩をヒントに作曲した曲です。題名の通り、春の日さしの中を獲物を追って疾走する猟犬の姿が、さわやかな曲調で描かれており、Springは「春」だけではなく、「跳ねる」という意味も含んでいるのではという説もあるほど、とてもリズムカルな曲です。構成は「急-緩-急」の3部形式になっています。

●「神曲」より I・IV 楽章 ロバート・W・スミス From The "Divine Comedy" Robert W. Smith

ダンテの古典作品に基づいて書かれた「神曲」という作品の第1楽章と第4楽章で、ジェームズ・マディソン・ユニバーシティ・バンドによって委嘱された、オーケストラのアレンジ曲。ダンテの「神曲」は3部作で、ストーリーは以下の様になっている。ある日、ダンテが暗い森の中で道に迷い、古代ローマの詩人であるバージルによって助けられる。そしてバージルに導かれて、地獄・煉獄を旅する。その後、ダンテは理想の女性であるベアトリーチェに導かれて天へ昇り、神の姿を目にする。

第1楽章「インフェルノ」は、地獄篇の自制喪失・暴力・欺瞞・悪意を通り、ルシファーのもとに行くまでの旅が、第4楽章「アセンション」は、煉獄山の頂上からベアトリーチェに導かれ、天国へ向かう旅が音楽に表現されている。

●オスカー・フォー・アムネスティー ディルク・ブロッセ Oscar for Amnesty Dirk Brossé

この曲はエルサルバドル(中米)のマリアネリヤ・ガルシア・ビリヤスの波乱にとんだ生涯を曲として表現したものである。作曲者のディルク・ブロッセはこれまでも常に、ラテンアメリカ世界の豊かで素晴らしい歴史に、非常な憧れを示し、そしてこの大陸のが抱える今日の問題について深い憂慮を表している。この曲は強烈な一撃で始まる。前半部は金管楽器の印象的な旋律や、木管楽器による軽快な旋律が現れる。中間部にはティンパニー・ソロが始まる、パーカッションの激しいリズムが現れる。後半部は緩やかで美しく、最後は消えるように静かに終わる。

●第2組曲 アルフレッド・リード Second Suite for Band (Latino-Mexicana) Alfred Reed

4つの曲から成る組曲で、「Latino-Mexicana」というサブタイトルが示す通り、すべてラテンの雰囲気漂わせています。

☆第1楽章「ソン・モンテューノ」、第2楽章「タンゴ」

キューバなどカリブ海に面した島々の音楽「カリブソ」に似た2拍子の軽快な第1楽章、「タンゴ」のリズムでロマンチックにも優しい印象の第2楽章が対照的です。

☆第3楽章「グワラチャ」、第4楽章「パソ・ドブレ」

アルゼンチンの酒盛りの歌という「グワラチャ」は、1楽章と同じ2拍子で、いきいきとにぎやかな楽章です。メキシコに伝わる闘牛の舞曲が「パソ・ドブレ」です。伝統ある闘牛場のファンファーレが鳴り響き、3拍子+2拍子の「パソ・ドブレ」になり、最後は華やかに終わりを迎えます。

●テストメント ロバート・ジェイガー Testament Robert Jager

このタイトルは「意志・信念を表明する」という意味があり、バージニア州で開催されているシックス・フラッグ・フェスティバル25周年を記念して書かれたものです。作曲者のロバート・ジェイガーは、「Heroic Saga」(英雄的伝説)を始めとし、「Lest We Forget」(我ら忘るまじ)など、多数の作品を手がけています。この曲は、荘重なファンファーレで始まる序奏と、明るく輝かしい祝典の気分にあふれた主部の、2つの部分から成ります。

●ファンファーレとアレルヤ ジェームズ・バーンズ Fanfare and Alleluyas James Bernes

この曲は、フロリダ州にある「フォート・ウォルトン・ビーチ高校」が創立20周年を記念して委嘱された祝典曲である。指揮者ヘブソン氏の依頼により、すべての楽器が良いアンサンブルが出来るように考慮されている。全体を通して生き生きとした力強さ、若々しいエネルギーを感じさせる音楽が展開する。

曲は、タイトル通り、最初、エキサイティングなファンファーレが金管楽器群によって奏される。すぐにアレグロに移り、軽快なメロディが各楽器によって演奏される。打楽器の使い方はバーンズ特有の魅力あるもので、打楽器重奏が効果的に挿入されている。中間部はコラル風のアレルヤで、木管楽器の優しさから、金管楽器の重厚さへとテーマが移動する。後半部は序々に速さと強さを増して力強い終結を迎える。

●ロッキンヴァー ジェームズ・カーナウ Lochinver James Curnow

この曲は、初め何かを予感させるように静かに始まります。にぎやかになり、再び次第に静かになると突然、荒々しい激しい音が鳴り響きます。金管楽器のメロディが流れ、その後、徐々に展開しながら曲は終末に向かって華やかになっていきます。

この曲は海外の「ロッキンヴァー」という物語に基づいています。彼はとても勇敢な騎士でした。しかし、彼の愛するエレンは他の誰かと結婚させられてしまいます。式場に現れたロッキンバーですが… この先は皆さん想像におまかせします